

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2023年08月号

大分市議会第2回定例会閉会

7月14日、大分市議会第2回定例会は閉会しました。令和5年度6月の一般会計補正額は130億円。令和4年度当初予算比較では、6.3%増の過去最高の予算規模となりました。



我が党が要求してきた、子供医療費無料化拡大、学校給食無償化、保育料の無償化拡大、奨学金拡充検討事業、パートナーシップ宣誓制度導入などは歓迎。

(再質問する福間)

また新型コロナウイルスワクチン接種事業、スマートサポートステーション導入駅への人員配置、物価高騰対策とし農業者・漁業者、交通事業者への支援、社会福祉施設等への電気代等価格高騰分支援など、市民の願いを後押しする施策に賛同しました。

しかし、大企業立地補助金、大型事業推進、デジタル化推進・マイナンバー、高額な市長退職金などに反対しました。

私の一般質問要旨(前号の続き)を紹介します。

コロナ病床確保料・薬の無料継続を

福間議員—2類から5類の引き下げで、病床確保料は半額で9月まで、コロナ治療薬も9月まで無料となっているが、継続すること。

福祉保健部長—「医療機関に対し必要な財源措置を継続するよう全国市長会を通じ要望している」「夏の感染拡大の対応として、9月末までの措置、その後は他の疾患との公平性を考慮し、その必要性を踏まえて、取り扱いを検討する」

認知症計画策定の基本姿勢は

福間議員—認知症基本法で策定が努力義務とされた認知症施策推進計画づくりの基本姿勢についての見解は



福祉保健部長—本市では、大分市高齢者福祉計画及び大分市介護保険事業計画において、基本目標のひとつとして、「尊厳ある暮らしを続けるための支援体制推進」を定め認知症に関する

各種取り組みを推進している。計画策定する場合は、国の「認知症施策推進計画」や「県の計画」を基本に精査してとりくむ。

野津原地域の公共交通の拡充を

福間議員—地域住民の意見・要望を真摯に受け止め、利用者に寄り添い、いっそうの改善・拡充をすすめること。

都市計画部長—今後もみなさんのご意見をいただきながら、日常生活を支えるモビリティとなるよう、運行ルートやダイヤの見直しに取り組むとともに、バス事業者に対し、路線バスの増便を働きかけていく。

市議団主催市政懇談会開かれる

8月5日、東部公民館で開催されました。猛暑のなか、ご参加ありがとうございました。



(東部公民館にて)

参加者からは「生活保護費に夏季加算の新設を」「電気代の補助を」「豊予海峡ルートの位置づけ」「駅無人化について」「下郡新駅について」「教職員の増員について」などの意見・要望が寄せられました。

岩崎前市議より、敷戸弾薬庫の現地調査の報告もありました。

次々寄せられる地域要望・生活相談



(公園の維持・管理を)

西大道児童公園は、樹木は生い茂り、犬の糞があちこちに、子どもが蚊にさされる。トイレや遊具の管理も行き届いていません。との声が寄せられ、関係者と現地調査。



東八幡5丁目の自宅南斜面が「地滑りしている」との声が寄せられ、関係者と現地調査。
←(地滑り対策を)

○遺産相続について ○国保税・県市民税の減免・分割について ○立ち退き迫られ緊急に住宅確保を ○精神障害者の生活支援について ○市営住宅の承継についてなど。

★高齢女性の介護・障害施策支援などに対応した同居中の娘さんより、お礼のお手紙が届きました。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

